ブラジル朝日新聞

(聖日伯新聞)
伯國聖市マエストロ カルチン街一二〇丸
發行所 ブラジル朝日新聞社
本紙定價年六十ミル 外國郵税共百廿ミル

抜き打ち的な獨伊會談
情報捕捉に迷ふ記者團
今後の戰局に決定的影響

ヒトラー總統は四日ブレンネル峠でムツソリーニ首相と會見

（ベルリン四日同盟）獨當局は四日ブレンネル會談に關しヒトラー總統は四日ブレンネル峠でム首相と會見、兩國外相ならびにカイテル幕僚長も列席、三日間餘にわたり兩國に關係あるあらゆる問題につき討議された旨發表

（ベルリン四日同盟）DNB通信社は四日ブレンネル會談に關し左のコムミュニケを發表した（寫眞上ヒ總統、下ム首相）

ヒトラー總統は四日ブレンネル峠でムツソリーニ首相と會見、兩國外相を交へ樞軸精神に基いて三時間にわたり續けられたが席上兩國に關係あるあらゆる問題が檢討された、會談中途からカイテル幕僚長も同席した

【ベルリン四日同盟】今回のブレンネル會談は三國條約調印の昂奮が醒めかけた時機を窺つて拔打ち的に行はれたため、國際記者團も情報の蒐集、眞相の捕捉に苦しんでゐるが、ドイツ政府當局は會談內容の詳細については全然沈默を守つてをり、四日單に左の如く語つた

兩巨頭會談はこれで六回目だが、三月のブレンネル會談をはじめ從來の會談が、その後の國際政局の動きに決定的な方向を與へて來た事實から見ても、今回の會談の內容が極めて近い將來において世界情勢の上に重大な變化を齎らすものであることは明かである これに關聯して英國の和平提議說、モロトフ・ソ聯外相の獨伊會談參加などが行はれてゐるが、ビーバー・ブルック卿はベルリンに來てはをらず、モロトフ外相もブレンネルには姿を現はしてゐない、而して會談內容については軍事代表が特に參加してゐる點からアフリカにおける軍事共同問題ではないかと推測され、さらにスネル・スペイン內相のローマ滯在が延期されてゐる事實からスペイン問題ともいはれ、また對ソ聯問題が會談の中心点とも豫想されてゐる、が何れも憶測の範圍を出てゐない、何れにせよ問題が單なる局地的、部分的性質を超へて戰局の歸趨に決定的影響を與へる重大性を帶びてゐることは明かで、獨伊の共同動作はこの會談を契機に政治、外交、軍事の各分野にわたり極めて活潑なるものと豫想される

英の專制勢力を
歐阿大陸から根絶
伯林政界消息通の觀測

【ベルリン四日同盟】ヒトラー、ムツソリニ獨伊兩巨頭のブレンネル會談の內容は全然窺知を許さざるも種々觀測が行はれてゐるが、DNB通信は四日夜ベルリン政界消息通の意見として左の如く報道してゐる

今回の獨伊會談はリッベントロップ外相のローマ訪問、日獨伊三國同盟條約などを貫く一定の方向に沿つて行はれたものであり、獨伊樞軸の政治、外交、軍事及び經濟的提携を更に一段と强化するものである、われわれは過般リッベントロップ外相のローマを訪問した際行はれた會談で歐洲の北端からアフリカの熱帶に到る地域の新秩序建設に關する將來の方針が確然と決定された事實を想起しなければならぬ、そしてこの新秩序建設の對象は今回の三國條約締結によつて大英帝國專制からの解放といふ世界的な課題にまで擴大されたのである、今回の會談は英國が直ちにテームス河畔だけでなくスエズ運河に到る範圍までも死物狂ひになつて防禦しなければならぬ事實に當つて行はれたものであり、獨伊兩國が英國打倒の目的に對して外交的軍事的に些かの假借もなく最後まで戰ひ抜く決心を定めたと見做すべきだ、いまやそれを實行する力は過去の如何なるときよりも强力であり、場所及び方法は事態の經過について決定されるであらう

米からも誘ひの手
引張り凧のソ聯邦
樞軸・英米側双方で競爭

【ニューヨーク四日安保發同盟】三國同盟條約成立から米國議會間に日獨伊三國の動向に對する關心を俄かに昂め、各新聞も連日にわたり樞軸國の外交的動きを詳細に報道してゐる、米國識者の本問題に對する關心の焦點は樞軸國の對ソ聯工作の成否如何におかれ消息筋の多くは三國條約に對して米國のとるべき尤も有効な手段は、さし當り對英援助に貫く一定の方向に沿つて行はれたものであり、獨伊樞軸の政治、外交、軍事及び經濟的提携を更に一段と强化するものである、われわれは過般リッベントロップ外相のローマを訪問した際行はれた會談で歐洲の北端からアフリカの熱帶に到る地域の新秩序建設に關する將來の方針が確然と決定された事實を想起しなければならぬ、そしてこの新秩序建設の對象は今回の三國條約締結によつて大英帝國專制からの解放といふ世界的な課題にまで擴大されたのである、今回の會談は英國が直ちにテームス河畔だけでなくスエズ運河に到る範圍までも死物狂ひになつて防禦しなければならぬ事實に當つて行はれたものであり、獨伊兩國が英國打倒の目的に對して外交的軍事的に些かの假借もなく最後まで戰ひ抜く決心を定めたと見做すべきだ、いまやそれを實行する力は過去の如何なるときよりも强力であり、場所及び方法は事態の經過について決定されるであらう

以外に、ソ聯を英米陣營に引き入れて日獨伊を牽制するにありとし、この點より今後の日ソ國交調整工作の成行きに對し異常な關心を拂つてゐるが、ソ聯引き込みに日獨伊對英米が競爭的態度に置かれてゐる際とて、APロンドン電は四日午前八時それ〴〵旅館上陸に成功し、各市街を掃蕩して所在の敵密輸巢窟を潰滅せしめたり

英外務次官とマイスキー駐英ソ聯大使の會見を契機に停滯中の英ソ通商會談がこれを再開されようとの報道が頗る重視され、一部ではこれが再開されゝばやがて政治的折衝に可能性ありとして、これに多大の希望をかけてゐる、一方米國の對ソ工作に關してはその後ワシントンにも間歇的に米ソ會談がおこなはれてゐるといふ以外になんら新しい情報なく、この會談は如何も何ら決定的段階に到達してゐないといふのが實狀らしく、米ソ接近工作を支持するもののうちにも寧ろ悲觀的觀測を下す向きが多い、しかもルーズベルト現政權も選擧戰前には確たる意志表示をなし得ないことは明なところとされてゐる、ル大統領は

三選の場合

同政權が對ソ接近工作を進めること必至と見られてゐるが、ウイルキ候補が當選した場合には共和黨領袖の對ソ接近反對態度より反對の方向がとられるものと見られる、何れにせよ米國が參戰して日獨伊と交戰狀態に入つた場合は別として、現下の情勢では日獨伊對英米のソ聯引込運動は英國側に分がないものとの意見が有力である

米、重大閣議開き
太平洋問題を熟議

【ワシントン四日同盟】ルーズベルト大統領は四日午後ホワイト・ハウスに閣僚を召集この長時間にわたつて重大閣議を開催した、この長時間にわたる閣議は最近珍らしいことで、閣議內容は頗る注目されてゐるが閣僚はいづれも一切口を緘して語らないが、消息通筋では閣議の中心問題は太平洋問題であり、米國は太平洋現狀維持の傳統政策を一層强化すべき新措置に出るのではないかと觀測してゐる

怪からぬ米人記者
外相談を惡意改作
わが外務省情報部長指摘

【東京五日同盟】松岡外相が一某國新聞記者に對し日本が書を抹殺したものである、右對米戰を辭せざるがごとき談話をなしたといふ松岡外相會見談と稱するものが、米國各紙に掲載され、同國朝野に重大なる反響を卷き起したと傳へられてゐるが、右は一米國雜誌記者が去る三日松岡外相と會見の後、その內容を故意に歪曲し日米關係を惡化せんとし、これを他の在京一米國通信員に語つたもので、後者は電報の最後に松岡外相とのインターヴュなる旨をことわり書として本社に打電したのであるにも拘ら于右打電記者の本社は故意にそのことわりなしに本國に廣く流布されてゐる趣であるが、右は全く根據のないものである、松岡外務大臣は就任以來在京の外國通信員と會見したことは一回もなく、たゞ十月三日旅行中のアメリカ某雜誌記者に面會したことがあり、その際話したことを前記外國通信員が又聞きして通信したものと察せられる

獨、ベンベルグ絹糸に
わが自由輸出許可
日獨經濟提携の第一歩

【東京四日同盟】ベンベルグ絹糸はドイツがパテントを握り極東代理生產權は朝日ベンベルグ絹糸會社がこれを行つてゐるが、ベンベルグ絹糸の服實は日本および支那の極東地域に限られてゐたものであるが、今回の日獨伊三國同盟締結により三國間の經濟提携の一層促進される傾向に鑑み、何れにせよ米國のソ聯引込運動は英國側に分がないものとの意見が有力である

鐵道新協定成り
ソ獨連絡は完璧

【モスクワ四日同盟】ソ聯、ドイツ兩國政府は過般來兩國ソ聯交通人民委員部代表とドイツ鐵道局長官との間に調印を了した旨發表した

協定は一日ベルリンにおいて鐵道連絡圓滑化につき折衝中だつたが、四日ソ聯政府はタス通信社を通じてソ獨鐵道新

敵の密輸ルートへ
斷乎・覆滅の火蓋
雷州半島に上陸敢行

【海口四日同盟】南支海軍報道部四日午後六時發表、敵密輸ルートの徹底的覆滅を期しわが海軍部隊は三、四兩日に亘り雷州半島に陸戰隊上陸を敢行せり、即ち海軍航空隊の適切なる協力の下に艦艇の砲擊灘くうちを强行進攻、烏石港（雷州半島西岸）三日午前八時海安紅灯（何れも東南岸）

敵匪正式に歸順
我方に協力

【漢口五日同盟】當陽南方を根城に蠢動してゐた敵擊北攻略司令張義はわが宜昌攻略戰後和平建國の鉾をとり、新四軍討伐にわが軍と密接な協力をなしてゐたが、去る三日當陽東南方慈化寺のわが部隊に百八十六と重擲八挺、輕機三十五挺、小銃一千八百その他武器彈藥多數を提供正式に歸順してきた

國防强化に反對
米國にも正氣の論
社會黨領袖、國民に示唆

【ニューヨーク四日同盟】米國社會黨領袖で今回同黨候補として大統領に立候補してゐるノーマン・トーマス氏は四日ニューヨークにおける選擧演說において現下の日米關係に言及、國防强化に反對して米國の極東貿易の金額をもつてしても、わが海軍の一年間の擴張ならびに維持費にも相當しない、まして一週間の戰費にも相當しないのである、日本の軍部を相手にして威嚇を試みることは米國史上最も非難さるべき、かつ高價な戰爭を賭するにいたる危險がある、予はかゝる狂氣染みた極東政策に反對で、今日の米國民のごとくかくも計畫的にヒステリーに追ひ込まれ外敵侵入の危機を誤信せしめられてゐる國民は少いであらう

失地回復必ず達成
泰國、大見榮切る
飽く迄要求貫撤の肚

【バンコック五日同盟】ルアンピブン首相は四日午後當地記者團との會見、左のごとく失地回復問題に關しフランス政府との交渉經過を說明するとともに泰國の態度を闡明したタイ國政府は極力平和的手段をもつて交渉を進めるも、武力に訴へる意志は毛頭ない、フランス政府も又從來タイ國とフランスの平等ならびに友好關係を必ず記憶してゐる筈である、失地回復要求に對しヴイシー政府より正式に拒絕し來つたので、タイ政府は再びフランス政府に對し早速考慮方要求した、まだなんらの回答に接しないが失地回復に對するタイ國の希望は必ず達成されるであらう

マークと共に
古國の誇れる
コロムビア

トピック解剖

日本の對米態度

近衛首相が神宮參拜の途次、京都で新聞記者に語つたところを見ると、日本の態度といふものがハツキリわかる、その內容は、アメリカが卒直に日本の立場を諒解しその行動を認めるならば、日本は敢てアメリカと事を經濟的提携を更に一段と强化するものである、われわれは過般リッベントロップ外相のローマを訪問した際行はれた會談で歐洲の北端からアフリカの熱帶に到る地域の新秩序建設に關する將來の方針が確然と決定された事實を想起しなければならぬ、そしてこの新秩序建設の對象は今回の三國條約締結によつて大英帝國專制からの解放といふ世界的な課題にまで擴大されたのである、今回の會談は英國が直ちにテームス河畔だけでなくスエズ運河に到る範圍までも死物狂ひになつて防禦しなければならぬ事實に當つて行はれたものであり、獨伊兩國が英國打倒の目的に對して外交的軍事的に些かの假借もなく最後まで戰ひ抜く決心を定めたと見做すべきだ、いまやそれを實行する力は過去の如何なるときよりも强力であり、場所及び方法は事態の經過について決定されるであらう

互ひにその立場を認め合ひ尊重し合つて、その目的遂行にお互ひに援け合はうといふことを約束したのであつて、別にアメリカその他をやつつけやうといふのでもない、といふのである、所が、かやうに卒直に誠意を披瀝してゐるに拘らず、アメリカあたりではまだ〳〵色眼鏡で見てゐる點が多い、裏の段階の、茄子と南瓜の喧嘩みたいなもので、色が黑くとも背が低くくとも、日本は嚴として日本の立場なり畑なりがある、そこへアメリカが長い手を出して日本にからみつけば、日本だつて腹を立てるのが、それが無理かエと言ひたくなるといふものであらう

ブレンネルの後に來るもの

ブレンネル峠でムツソリニとヒトラーが何を話し合つたか確かなことは御本人ふたりのほかは誰も知つてゐない、ドイツ政府當局は、ともかくブレンネルで兩巨頭が相談すると、その後では必ずドエライ事が始まるものと覺悟するがよい「問題が單なる局地的、部分的性質を超へて戰局の歸趨に決定的影響を與へる重大性を帶びてゐる」ことは明かだと、頗る薄氣味の惡いことをいつてゐる、氣の揉めるのはイギリスで、獨伊の大砲と飛行機は、こんどはどちら向いて動き出すか、ジブラルタルからアフリカへか、バルカンから近東スエズへか、それともこんどこそは思ひ切つてお膝下へか、とにかくどつちへ向けられたにしろ、皆目見當がつかないので弱つてゐるらしい、中には獨伊も大分手古摺つて來たから仲直りを申込むのじやないか、などと虫のいゝことを想像してゐる連中もあるやうだが、これは嘘だ、DNB通信などは、ベルリン政界の意見を代辯して「北歐からアフリカの熱砂の中まで、イギリスの桎梏から脫して新らしい秩序のうちに更生しやうといふ手段が確定されたのである」といつてゐる、つまりあくまでも打倒イギリスを決意してゐると見てよいこの程ドイツ、バンベルグ絹糸會社より朝日ベンベルグ會社に對し無條件でベンベルグ絹糸の第三國輸出の自由を許可して來たことは注目される

人絹の販賣數量
一萬五千梱

【東京四日同盟】人絹聯合會では三日絹糸部委員會を開き十月輸出向け絹糸、人絹糸の販賣數量は最近に人絹織物の輸出情勢に鑑み一万五千梱と決定した

カーザ東山
CASA TOZAN, LIMITADA

São Paulo ..... Rua Florencio de Abreu, 308 - 314 - 318 - 322 C. P. 528 - Tels. 3-1141 3-1142 3-1143 3-1144
Santos ..... Praça Maná, 25 - C. Postal, 911 - Tel. 2106
Rio de Janeiro ..... Rua São Pedro, 63 - C. P. 3342 - Tel. 23-4031
Lins ..... Av. Voluntario Rosalino Silva, 147 - C. P. 11 Telephone, 240
Marilia ..... Rua 9 de Julho, 1277 Caixa Postal, 74 Tel. 460
P. Prudente ..... Rua Tenente Nicolau Mâffei, 36 C. Postal, 17 Telephone, 300
Promissão ..... Rua Julio Prestes, 1057 C. Postal, 16 Tel. 50
Quarantan ..... Estação Guarantan — N. O. B.
Alvares Machado ..... Estação Alvares Machado - E. F. S.

東山銀行
CASA BANCARIA TOZAN, LIMITADA.
伯貨定期預金 年六分
SANTOS — S. PAULO — LINS — MARILIA — P. PRUDENTE

荒爾・微笑む海の荒鷲
敵心膽を忽ち碎き
破天荒の着陸攻撃
四勇士宛ら阿修羅

【〇〇基地四日同盟】わが無敵海の荒鷲は四日颯爽を連ねて長驅四川の山嶽を突破、成都を攻撃した、この日横山、玉津、白穂各部隊長の指揮する戰鬪機部隊は午後二時三十分爆擊部隊と相呼應して成都上空に突入したが、挑戰し來る敵機なく腕を撫しつゝ機首を轉じて泰平寺飛行場を奇襲、小癪にも挑戰し來つた敵E一六と空中戰を交へ一瞬の間にこれを地上に叩きつけ、さらにわが猛威に恐れて逃走しゆくSB一機に追ひすがり的確の銃彈の下にこれまた擊墜し狀況を連呼しつゝ泰平寺飛行場を偵察すれば、爆擊機部隊は果敢にも地上スレスレに低空銃擊を敵地に浴せかけ紅蓮の炎を次から次に飛行場の草叢を包んで壯絕を極めてゐるこの時東山兵曹長（長野縣出身）は突如舞ひ下り見る間に敵飛行場內に滑つてゆく、次で羽切一空曹（靜岡縣出身）續いて大石二空曹（靜岡縣出身）中瀨一空曹（德島縣出身）と相前後して降下、期せずして四機が敵飛行場に着陸した、機上より躍り出た四名は拳銃を亂射しながら左手にマツチをシツカと摑つて場內を脫兎のやうに走つてゆく、敵の小銃弾が雨のやうに注がれるうち一帶に擴がつてゆく黑煙の中をつけた、眞赤な炎は見る間に機體をなめつくす、また二機が火がつくとその瞬間、東山兵曹長が敵戰鬪司令部に走り込んで行つた、見れば破天荒の着陸攻撃に驚くべきの影を見せない、好機とばかり最寄りのガソリン倉庫からガソリンを持ち出して戰鬪司令部に火を放つた、黑煙は濛々と渦卷いて敵の誇る泰平寺飛行場戰鬪司令部も忽ち灰燼に歸して行つた、一方上空には友軍機が翼を振り或は撹上の戰友が手をかざしながら地上勇士の果敢な行動を見守つてゐる、任務を果した四名は素早く愛機に飛び乘り飛行場に向つて悠々と再び上空に舞ひ上つたのであつた、思へば今回の敵基地着陸攻撃は昭和十三年七月十八日小川中尉の率ひる海鷲群が東洋第一の敵基地と誇つた南昌飛行場に着陸、敵格納庫および飛行機とを炎上せしめた四敵するので空中戰史に不朽の名を止めたものである、その日の總指揮官市丸部隊長は勇士の敵地着陸奪取を見守りながら機上にて着陸し膽を奪ひて東の間に名を擧げけり大和男子は一首を朗吟し、任務を完ふして飛び上り來る空の四勇士の勇敢さを賞め稱へた

【ベンベルグ絹糸會社】

【ニューヨーク四日同盟】米國の極東貿易の金額をもつてしても、わが海軍の一年間の擴張ならびに維持費にも相當しない、まして一週間の戰費にも相當しないのである、日本の軍部を相手にして威嚇を試みることは米國史上最も非難さるべき、かつ高價な戰爭を賭する

わが立場承認が先決
米國側の猛省を促す
西下の近衛首相、時局縦横談

交調整は今後とも進めてゆく旨明かにした

【東京四日同盟】親任報告のため西下した近衛首相は四日夜京都で時局談を試みたが、左の如く同盟締結後におけるわが國の外交政策については、まづ同盟は第三國から攻撃された場合に相互に助け合ふもので決して攻撃的なものでない、アメリカがもし日本および獨伊のそれ〳〵の立場における指導的地位を認めるなら三國も米大陸におけるアメリカの指導的地位を認めてもよい旨を示唆してアメリカの反省を促し、また對ソ關係にもわが國および東亞におけるコミンテルンの活動をあくまで排撃するが、その政治經濟關係の國交調整は今後とも進めてゆく旨明かにした

日、佛印更に緊密
經濟提携の實現へ
松宮特派使節を派遣

【東京五日同盟】東亞共榮圏確立を目指す帝國と佛印間の經濟協力促進方に關しては、さきに松岡外相とアンリー駐日フランス大使との間で交渉の結果、經濟提携の實現の具體的方法につき可及的速かに商議を開くことゝなつたので政府は松宮大使を主班とする使節團を佛印に特派することゝなり、一行は來る十一日神戸出帆のアリゾナ丸にて出發佛印政廳と直接交渉を開始することゝなつた

【東京五日同盟】東京四日同盟】親任報告のため西下した近衛首相は四日夜京都で時局談を試みたが、左の如く同盟締結後におけるわが國の外交政策については、まづ同盟は第三國から攻撃された場合に相互に助け合ふもので決して攻撃的なものでない、アメリカがもし日本および獨伊のそれ〳〵の立場における指導的地位を認めるなら三國も米大陸におけるアメリカの指導的地位を認めてもよい旨を示唆してアメリカの反省を促し、また對ソ關係にもわが國および東亞におけるコミンテルンの活動をあくまで排撃するが、その政治經濟關係の國交調整は今後とも進めてゆく旨明かにした

更に內政問題については新體制運動の精神はあくまでわが國體の明徴を第一義とするもので、個々の政策についてのみ外國の長所をも取り入れようとするものであるが、これが輪廓が出來上つたので今後は新體制の實質的樞軸となる經濟機構の再編成に邁進する意向であると述べ、その他事變處理などの問題、官吏制度改革などの諸問題についてもわが不動の國策に則り不退轉の決意をもつて解決にあたる抱負を開陳した

隨員も畧ぼ內定
外務省情報部長の談

【東京五日同盟】對佛印通商交渉のため特派使節派遣に關する外務省情報部長談（五日午前十一時）

帝國と佛領印度支那間の經濟的協力促進方に關しては、さきに東京において日佛間に話合ひをなしたる結果、相互の經濟關係を密接ならしめ經濟提携の實を擧ぐるための具體的方法につき、速かなる機會に商議すべきことゝなつた、しかしてハノイにおいて開始せられる軍事的問題に關する現地交渉も過般妥結に達したので、今般松宮大使を主班とする使節團は佛印に赴き佛印政廳と直接具體的交渉に當ることゝなつた、松宮特派使節に隨行すべき一行は左の通り內定し、來る十一日神戸出帆のアリゾナ丸にて現地に赴く予定である顧問加納省三郎、隨員事務總長外務書記官龜澤信一（アメリカ第二課長）外交官補

同盟締結の功勞者
天皇陛下に謁見
感激にむせぶスターマー氏

【東京五日同盟】天皇陛下には五日午前十時半日獨伊三國同盟締結に特命全權公使として活躍したハインリヒ、スターマー氏に對し親しく謁見仰せつけられた、光榮のスターマー公使は夫人同伴オットー大使に伴はれ、午前十時十五分參內、天皇陛下には御軍裝を召され午前十時半鳳凰間に出御、オットー大使うやうやしく御紹介申上げて公使に謁見仰せつけられ、優渥なる御言葉を賜ひ公使は光榮に恐懼御前を退下、續いて夫人とともに鳳凰間に參進、皇后陛下に謁見仰せつけられ有難き御言葉を拜したゞ〳〵感激して宮中を退下した

米、木炭、住宅など
具體的對策を協議
政府、國民生活に万全策

【東京五日同盟】政府は高度國防國家體制確立を期し、當面の經濟諸問題の具體的對策を協議するため、近衛首相をはじめ大藏、商工、農林、內務、厚生、遞信、鐵道各省より光藤俊雄、大藏書記官島本融（爲替局外資課長）陸軍中佐增田繁雄（陸軍省整備局）海軍大佐中堂觀惠（在ハノイ）農林書記官石川準吉（米穀局外地課長）商工書記官椙杜正太郎（化學局有機課長）拓務書記官金子辰太郎（殖產局理財課長）企畫院書記官岩武照彥、商工省囑託加藤俊雄、橫濱正金銀行員名和田政一、外務屬一江秀男、外務屬市川弘二

開催する方針である、なほ右經濟關係閣僚會議は今後毎週一回乃至二回定例的に開き、さし當つては直接國民生活に關係のある米、木炭、中小商工業者救濟などの具體的問題に關する對策を協議し速にこれが實現をはかる方針

北支炭の開發に
內地業者乘出す
現地中央の意見一致

【東京四日同盟】北支炭の開發經營は興中公司の委託經營による形式を改めて日支合併の採掘會社をもつてする方針のもとに計畫が進められて來たが、今回種々の事情により既定方針を改め右五ブロックの炭坑の開發經營は北支開發と內地炭坑業者が組織する組合をしてこれに當らしめることに現地ならびに中央の意見が一致を見るにいたつた、即ち中興炭については三井、磯縣

新亞談窓
新たなる熱意

想像

新體制とは何か？　恐らく具體的のことは分らぬといふのが本當であらう、しかしその精神をもつ新組織である」と言われが「現狀の打破であり、新を選しうして見る

今日の戰爭は總力戰である、この事はすべての人の力を戰爭といふ唯一の目的のために統制し、その間に摩擦なく調整するといふことである、すなはち經濟力の協力調整と統制が問題なのである、これは從來のやうな市場における競爭と代價の作用では期待できない、すべての制度とすべての個人の力を有機的の統一體たらしむるためには先づ强力なる中央集權的政治組織が必要となつて來る、地方廳の農林課が二國で買つて來て商人に渡した木炭を同一地方廳の經濟保安課がこれを一圓八十錢以上に賣るなと嚴命するやうな經濟力の非調整が同一官廳內にあつてはならぬ商工省と農林省、商工省と外務省間にはなほ更あつてはならない强化を意味するものである

かくのごとき徹底した綜合的計畫が强力なる中央集權的政治組織によつて行はれる時は、こゝに必ずや新なる國家資本主義と新官僚政治の勃興を見、個人資本家と個人金融業者はその社會的使命を失うて、かの中世の封建諸侯の沒落の跡を追ふものと思はれる

こゝに大きな問題は、かゝる新官僚主義の勃興に伴つて必然的に今までの個人的創意を目的の必消し的存在であり、日米相戰つて双方とも何の得なる關係があり、ソ聯は今や引張り凧の有樣▼ソ聯が極東は立場は大きにはつきりしたが、それと同時に日米關係はいよ〳〵惡化の一路辿るといふのも是非ない次第▼二つよいことはないといふからそれ位いのことは諦めるほかないが▼ただ三國同盟が出來たからつて、直ぐ城爭だなゝ早合點するのは例の日本人の生一本さとせつかち性を示す悪い癖といへよう▲大體三國同盟が戰爭防止の結果、日本の立場は大もある▲今こそ兩國に大政治家といふ者があるなら、太平洋を隔てた兩大民族の正面衝突の喰止めに全力を盡すべき秋であらう▼世界は片や日獨伊、片や英米の兩大陣營に對峙したりだが▼さうなか〳〵開戰が遲すかどうか▼從來犬猿の間柄の日ソでは話合ひがつくまいが、今度は獨といふ橋渡しがあり、存外ソ聯は樞軸側に色よい態度を示すかも知れないが▼そも〳〵今次の世界動亂でボロ儲けに儲けたソ聯のこと、さう易く手の中を見せては今後のこともあると考へ▼オイソレとは御興を上げず散々ぢらすことも考へられる▼日本としては米にせよ、ソ聯にせよ、支那事變といふ厄介物を背負ひ込んでる限り、これとイザコザを起すことなど成るべく願下げにしたいのが本音であらう

現れた「飛行鉛筆」
ロンドン空爆に活躍した新型

【ローマ發】イタリアのメッサゲエロ紙ベルリン特電は今回ドイツ空軍の急降下爆撃機にさらに最新鋭の高性能爆撃機が出現した旨次の如く報道し底知れぬドイツの航空機製作技術に對する讃嘆を呼びでゐるさる夜のロンドン大空襲に際し突如新鋭DO一七型及びDO一二五型急降下爆撃機がこれに參加、大活躍を行ひ驚異的に正確な性能を示した、なかんづくDO一二五型はドイツ最新爆撃機で今回の戰鬪にはじめて使用されたものである、新鋭機は戰鬪、偵察爆撃を兼ねる一種の双發多用途機で航空力學上特に優れた諸特徴を有し形はやゝ長く何となく鉛筆に似たところがあるので飛行士達は早速「飛行鉛筆」といふ名をつけて喜んでゐる

本國を見放じた豪洲
避難民も厄介もの扱ひ

オーストラリヤ航路東京丸（六、四八一トン）はブリスベンから直航して神戸に入港、イギリス本國の潰滅を前にして英領のこの大陸が案外に戰爭熱が稀薄だといふ意外の報告がもたらされた、同船で歸つたメルボンの土產話——

在住十ケ年の大阪市西成區粉濱東之町出身玉井菊雄氏

「物資が豊富で生活の豊かな土地だけに國民の緊張がどうも足りない、今年のはじめがらイギリス本國へ送るため食糧の統制をはじめ九月一日から現在向は各民間航空クラブに六台の飛行機を有するに過ぎぬが年間一千人のパイロットを養成することが出來るといふ風であり、このためいまだに勞働黨などは政府に協力せず、擧國體制がとり得なくて惱んでゐる

本國から引揚げたイギリス人婦女子が豪洲に來ることはうるさいなあといふ氣持を露骨に見せ、イギリス本國からの引揚げ兒童の收容刺當もあの廣い全豪洲でわづかに四千人しか引受けてゐず、私が出發するころにはまだ子供たちを迎へる準備も放りつぱなしになつてゐました」

ぶらじる丸
渡來呼寄及再渡航者氏名廣告

○呼寄

同山形縣 醇神奈川縣 和歌山縣 廣岡縣 同高島縣 愛知縣 同熊本縣 福岡縣 同沖縄縣

○再渡航者

北海道 同宮城縣 同秋田縣 同山形縣 同新潟縣 同富山縣 同石川縣 同福井縣 同長野縣 同岐阜縣 同靜岡縣 同愛知縣 同三重縣 同滋賀縣 同京都府 同大阪府 同兵庫縣 同奈良縣 同和歌山縣 同鳥取縣 同島根縣 同岡山縣 同廣島縣 同山口縣 同香川縣 同愛媛縣 同高知縣 同福岡縣 同佐賀縣 同長崎縣 同熊本縣 同大分縣 同宮崎縣 同鹿兒島縣 同沖縄縣

山形縣	鈴木範藏	外三名	
奈川縣	高橋寄子	外三名	
岡縣	月武吉	外二名	
醇神奈川縣	堀兼室	外一名	
和歌山縣	西望カミノ	外一名	
廣岡縣	木山原カツ	外一名	
岡山縣	伊藤井利雄	外二名	
廣島縣	角森岡繁三郎	外二名	
山口縣	中藤幸雄	外二名	
福岡縣	西宮ヨシ	外一名	
熊本縣	田中義ツ	外一名	
大分縣	宮村就ツ	外一名	
宮崎縣	安藤ヨウ	外一名	
鹿兒島縣	富田組	外一名	
沖縄縣	富城德三郎	外一名	
同	大城清勇	外一名	
同	山城川	外一名	
同	花前ハツ	外一名	
同	宮里フツ	外一名	
同	高良源正	外一名	
同	島袋ツ	外一名	
同	西村キヨ	外一名	
同	宮城ミエ	外一名	
同	金城良正	外一名	
同	玉榮キヨ	外一名	
同	伸座八郎	外一名	
同	貝塚キヨ	外一名	
同	宮城清	外一名	
同	久場盛良	外一名	
同	吳屋盛賢	外一名	
同	天久清	外一名	
同	宮城キヨ	外一名	
同	久橋盛吉	外一名	
同	宮里賢	外一名	
同	安慶名清	外一名	
同	大城忠和	外一名	
同	山城謙	外一名	
同	花城榮江	外一名	
同	高良正	外一名	
同	宮城ハツ	外一名	
同	宮城ヨシ	外一名	
同	宮城ヨシ	外一名	
同	宮城ヨシ

訪日陸上選手一行のためポンと投げ出した五千圓

日伯棉花社長の原田さん

ほんの志ですが……と

嬉しい話へて海越

佳き年正しい練習をなし身體のコンディションを整へ晴れの大會の神宮の舞台に立つ日を待つ國民體育大會にはこたえて必ず立派な成績を挙げたいといふ熱意ある應援へ參加練てますと昨日その船中便りを寄せた

なほ邦人陸上選手一行の到着を待ちながらくして待つてゐる期的な使命を首を帶び南部忠平氏、原梅三郎氏（神戸日伯協會長）等は一行の歓迎準備万端整へてゐるが、兩氏から訪日選手一行の話を聞いた日伯棉花社長の原田さんは、ブラジルには支店であるブラスコットがあり在留同胞にはいつも御世話になつて居り、これはホンの志の一端ですが選手の日本滞在費用として五千圓をポンと投げ出し關係者を感激させてゐる嬉しい話である

選手の船中プログラム

午前六時半　起床
六時半　體操
七時半　食事
八時—九時　讀書
九時十五分—十一時　ウオミング・アップ
十二時　食事
午後一時—四時　自由（との間練習および研究をする）
四時半—五時練習
六時　食事
七時半　座談
七時—八時　讀書
九時　就寝

「骨粉」難の農家にこれは耳寄りな話

▽……「東山製」近くお目見え

「東山」では昨年末よりカンピーナス農場内に骨粉工場の建設工事を進めてゐたが、去る九月末完成、いよ〳〵近く骨粉の賣出しを開始することとなつた

珈琲によし棉によし野菜によし果樹によし、おまけに土地に選り好もなく全く凡ゆる農作物、凡ゆる土地に對して「万能肥料」といつてよい「骨粉」の需要は近年ます〳〵增加の一方、ところが一方、聖州の骨粉生産高は年間僅か二万五千トンそこ〳〵といふ仕末で「骨粉」難は日を逐つて深刻となつてたものだが、この東山製骨粉のお目見えは骨粉難に喘いでゐた農家にとつては全く耳寄りな話である、これについて東山山本總支配人は次のやうに語る

東山農場の凡ゆる農作物にフンダンに施肥するにはどうしても年間三百トンの骨粉が必要で、この骨粉工場もまあいはゞ自家用の骨粉製造を目指して始めたやうなもので、今のところ年間二千五百トンの生産能力ですがおひ〳〵擴張して行く心算です云々

日伯親善に邦人産組も一役

◇……ブラジル人の加入激增

産組精神に目覺めた邦人農家の産組熱は日を逐つて高潮の一途を辿つてゐるが、最近各地邦人産組にブラジル人農家の加入が目立つて增加して來たことは嬉しい現象である、特にパラグアツシー産組などは邦人三百八十に對し伯人七十の加入者を見てるような有樣で、日伯人が一丸となつて産組戰線に活躍する親母しい日伯親善調を見せてゐる

略奪農を止めよ！

今ぞ邦人農家に「活」

日伯農事協會　積極的に動く

創立以來四年、ブラジル邦人農界啓發のため眞摯な努力を續けてゐる日伯農事協會では去る四日午後二時より總領事館會議室に於て協議會を開き山本農事司理事長を始め勸業部員、カシンギー農事試驗所員その他の幹部參集、協會今後の事業方針について各自意見を持寄り眞劍に協議を重ねたが、その結果

多年の略奪農によつて早くも衰退の兆を現はしてゐる邦人農界に「活」を入れ土を愛し土に生きる眞の百姓道を樹立するためには、同協會が「地力維持」「生産增進」を目指し多年默々として續けて來つた研究により得た合理的な農法にものいはせ日伯農事協會もいよ〳〵今まで試驗時代を脱して邦人農家指導に積極的な行動を開始することゝなつた

世界の秘庫・アマゾンを探る（下）

アマゾン流域中田廣二郎技師　第一太平洋報

密林中に歡樂の都

一年の勞苦、一週間で失ふ人々

ジユート栽培に努力する邦人

蓄積に碎ける澄んだアマゾンの水、その中を船は靜かに進んでゆく、その夜がまだ明けきらぬうち「ヴイラ」着き船はあと廿日もしなければ「ヴイラ」といふ驚愕て〻飛起きます」といふ驚愕て〻飛起き眺めるヴイラの町は日本人が自らの手で開いて十年を閲してゐるといふ土地柄だけに日本の匂ひが濃い、數日中に州統領が視察にくるとかで村はその準備に多忙だつた、ペルーのイキート（アマゾン上流ペルー國領内）行に連絡する船はあと廿日もしなければ來ないといふので當分こゝに滯在である、日本人の顏と日本家屋、曇がなくハンモックがあるのが南米の氣分を感じさせるだけだ廣い庭の中に玩具の家が建つてゐると說明したいほど隣家と離れてゐる、その庭を二尺もある綠色の大トカゲが悠々と横切る

ムクイン（の洗）禮

はじめての日の夕方、脚から腹にかけて頗る痒い、手が離せないほど痛痒い「つひにアマゾンの洗禮をうけましたね、ムクインですよ、レモン汁をお塗りなさい」

とこの苦しみを見たU君の言葉には言はれた通りレモン汁を塗つて入浴すると天下の快味が身體中を浸してくれた、そしてムクインが水面に小さく浮いた屍につくと人血を吸ふとふ蝙蝠が夜通し天井で鳴き、屋根の隙間が世界にお外では異樣な獸の聲がして眠れない、朝になつてきけば數十尾の猿が毎夜かうして踊り叫んでゐるのだといふことだ

アマゾン河口のベレン市を出帆してから廿八日目、漸くのことでイキート（ペルー共和國）行の船がきた

美しい人工都市

卅一日目朝十一時、勇んだ濃い褐色の水が黄色の水に變り、流れが強まつた、船はリオ・ネグロ河に入つたのである、河口よりこゝまでをアマゾナス河といふ、マナオスの町はこのネグロ河を六粁も遡つたところにある、まさに河口から一千浬の上流なのだ、深綠地獄の中のこの人工都市はほんとに美しい、人口八萬、アマゾナス州の首都中でも一番私に興味のあるのは〝川の港〟であつたとか

勤勉一年の代償

私はこゝからさらにペルーのイキートへと船旅を急がねばならぬ、私の乘り替へたイキトス行のデストリツト・フエデラル號の出帆は悠長にもあと二日遲れた、ベレン號の客は殆んど入れ替つてしまつた、私はいまマナオスの郊外でみた無限の森林の奥行からくる恐怖を思ひ起す、その奥深い森林の中ではゴム採取に一年を孜々と働き、それで得た相當の代價を儲かり一週間のこの町の享樂で賣す人々のゐることを、荒い生活が〝アマゾンのパリ〟といはれるマナオスでどれほど和らげられ、またさらにデスペレートにすることか

私は、蠅と蚊のゐなかつたことゝ、マナオス唯一の日本人村井氏の親切と、そしてこの近郊で日本人唯一の團が漸くジユートの栽培に成功して一つの組織を持たうとしてゐるとの快報を耳にしたことを樂しい土産として、さらに邇航をつゞけてゆく—

國禁品

隊商組んで南米へ

「輸出會社」お目見え

既報、七・七禁令で目の敵にされて閉め出しを食つた金、銀糸入りの織物類をはじめ國禁の奢侈贅澤品が大阪商人の不屈の意氣に蘇つて外貨獲得の一役買つていよ〳〵海を越へて南米の新市場へやつて來る——大阪一流業者によつて計畫を進められてゐた國禁品の海外輸出會社は有限會

「骨粉」難の農家にこれは耳寄りな話

▽……「東山製」近くお目見え

日伯親善に邦人産組も一役

◇……ブラジル人の加入激增

略奪農を止めよ！

今ぞ邦人農家に「活」

日伯農事協會　積極的に動く

あの手この手

弘法大師やバタタを種に各地で荒稼ぎ

その一

九月下旬頃、中央線モヂ驛附近を日本で巡査をしてゐたと言ふ五十才前後の男が、サンパウロ總領事館、サントス領事館、リオ大使館の衞文證明書と稱するものを持つて弘法大師（縱二寸横一寸）の御尊像五種類の紙片をもつて一枚十ミル乃至二十ミルで言葉巧みに邦人間に賣りつけてゐるが右について聖市總領事館では右本人と思はれるものが過日ベロンより注意人物としてこれを通知してゐる

その二

プレート市附近在住邦人の間をバタタの見本を持つて歩き、品物はあとで送るからと甘言を弄して手付金を詐取してゐた邦人が居たが、去る廿三日リベロン・プレート警察に捕へられ、被害者および總領事館リベロン・プレート分館員の立會のもとに取調べた結果、本人も改悛なほ同人はビネイロス方面に住んでゐる者らしく、リベロンより注意人物としてこれ眞等を總領事館へ送つて來てゐる

伯亞通商會談（第二日目）

伯亞通商交渉第二日目は前日一頗る好望されてゐる、四日の同樣貿易審議會建物で行はれたが、交渉は次の三點に基いて行はれ、兩國代表會談の前途は一、伯亞兩國相互に競爭とな來館しお灸の證明をしてくれと言つて來たが、斷つたとたとがあり一切證明書を下附した覺えはない、多分年齢事實證明書あたりを惡用してゐるのであらうと語つてゐる

最近リベロン・プレート市附近在住邦人の見本を持つて歩き、品物はあとで送るからと甘言を弄して手付金を詐取してゐた邦人が居たが、去る廿三日リベロン・プレート警察に捕へられ、被害者および總領事館リベロン・プレート分館員の立會のもとに取調べた結果、本人も改悛なほ同人はビネイロス方面に住んでゐる者らしく、リベロンより注意人物として寫眞等を總領事館へ送つて來てゐる

二、伯亞兩國相互に將來生産せらるべき物産の取引に對する特惠條約

三、伯亞兩國貿易促進の基礎となるべき兩國經濟の調整

バーロス執政官六日モヂミリンを訪問

アデマール・バーロス執政官及びマウリシオ・カルドーゾ第二軍團長は來る六日モヂアナ線モジミリンを訪問するが同市では官民大童で歡迎準備を進めてゐる（寫眞は執政官）

一匹のジヤカレー君悠々市中を漫歩！

リオッ子びつくり仰天

交通止めの大騒ぎ

干し始めた、さあ大變通行人や電車、バス、自動車は交通止めを喰つて大騒ぎとなつた御當人のジヤカレー君顧つてもないリオ見物に大滿悦の體で、だが都會の騒音は故郷の河原よりは少々うるさいらしい、空腹と見えて美味そうな人間の臭ひに時々鼻をピクつかせたり、頭を動かしたりしてこわい物見たさの見物人を氣味惡がらせてゐた、程經てからこのジヤカレー君の持主が現れたが、この御仁田舍で生捕りにした右ジヤカレー二頭を皮屋に賣込むつもりで、トラックに乘せて早朝リオ市にやつて來たものだ、持主が革屋に交渉中ジヤカレー君は仲よくトラックの中を抜け出してリオ市中散歩と洒落たわけであつた

故細江一雄君慰靈祭

去る二十九日カンポス療養所で死去した元パラ拓會計主任細江一雄君のため昨五日午後三時よりブラ拓赛に於てブラ拓職員生前の知友多數參例の上懇ろな慰靈祭を行つた

社に準じて協同貿易斡旋所として創立され、大阪府立貿易館内事務所で重役會を開いた結果次のような方法で第三國輸出計畫を樹立した、これによると同斡旋所では各業界からまづ十二名のエキスパートを選んで二班の海外派遣團力旅商團を組織、禁止品を携行して第一班は北南米各都市へ、第二班は蘭印、佛印方面へそれ〳〵九月中旬出發したが、各地の貿易館出張所をはじめ在伯同胞の斡旋協力を求めて賣り捌く一方、將來の販路獲得に全力をあげることになつてゐる

話港

獨逸の空輸貿易

ニューヨーク・タイムス紙のリオデジヤネイロからの報道によれば、ドイツは近く大空中輸送隊によつて開戰以來契約不履行となつてゐた南米向輸出を再開する意向であると言はれる、右計畫によれば佛領西アフリカ、セネガルのダカール港は獨の對南米貿易の中心となるものと豫想されるがこれと關聯してダカール港のイクリー航空會社が戰時中にも拘らず現在も規則的に營業を續續しイクリー商品を南米に輸送する傍ら南米から重量に輸送する軍需資材を持歸つてゐる事實が注目されてゐる

長期

◇…去る四日の州官報によると外國人團體として登錄申請中の左記團體は手續に不備の點があり右通知を受けてより二十日間内に手續きをしないと閉鎖を命ぜられると、瑞穂日本人會、ポンスセツソ日會、アバレー日會、ツパン日會、パラグアス聯日會、プロミツソン青年聯盟

◇…最近リオ市リオ・ブランコ大通りの電車やバスの停留所で婦人のハンドバツグを掏摸つてゐたスペイン生れのマリヤ・ツアレーと呼ぶ稼代の女賊が捕つた

◇…市内バロン・デ・イタペチニンガ街に開かれてゐるフランス名畫展覽會は五日で閉めると事になつてゐたが今日の午後十時までに延ばされた

◇…リンス市の某邦人藥局にやつて來た百姓さん「ハリバーツチうれんの」とやつた處その藥屋さん（いづれも九州人でした）注射の針を出して來た、それを見たお百姓さん「ハリバくれろと云ふてるのに針ばくれるやつが有るか」に「ハリバくれと言ふから針ば出して來たタイ」とおし問答數刻……で結局西谷商會發賣の小粒肝油ハリバ一箱買りつけて儲けたです

◇…ハリバと言へば今度日伯社ではハリバ及びエビオス（胃腸藥）の取次ぎ販賣をして居ります、どうぞよろしく

◇…久しく閉鎖してゐたチエチ移住地ベラフロレスタ藥局が開業した、グワラベス市の山本氏が觀光團で歸つたあとは東（和歌山）岡崎（山口）兩氏のコンビでアルト寫眞館として事業を繼續中である、コロムビア・レコードも引つさき取扱つてゐます

◇…ビネイロス青年會では海外在留邦人調査を引受け三日迄に一通り集め總領事館へ届けたが、洩れてゐる方は同青年會原君のところまで届けて貰ひたいと、又同青年會では同地在住者の住所錄（第二回目）を作製することゝなつた

◇…邦人社會の唯一の農業雜誌「産業のブラジル」が九、十合併號として出た、農家の好伴侶？

◇…東山絹織物部では春の賣出しを三十日から向ふ一ケ月間やつてゐる、春着を買ふには絶好の機會……

社告

左記の者御地方へ出張致させて居ります故御配慮の程お願申上げます

リベンナポリス間　中山貞男
奥ソロ方面　小畑秀雄
タウバテ方面　清地幸操
ピングモニアンガベ方面
バウ・クルス間　弘本壽雄
モヂ・グラス・クルーゼス方面　吉川光男
マリリア方面　片山英太郎
サンパウロ一帶　杉田定美
レイルウエイ
サントス＝ジユキア方面　山田實
パストス方面　平尾七五三吉
アララクアラ
モヂアナ
パウリスタ本線
ドラデンセ
サンパウロゴヤス　秦泉寺一二

ブラジル朝日新聞社

求指物師

松村の指物師、一日廿乃至二十五ミルになる請負業大至急求む、御照會は左記へ
R. Visconde de Abaeté, 179 - Braz

GIZ BRASIL

Escriptorio : Rua da Quitanda, 76 5.° and. Tel. 2-2539 C. P. 3223

外國製に優る國産白墨學校、撞球場、洋服店で歡迎されて居ります

時計店 Luiz Russo

直輸入……卸小賣確修繕、確實、正確
齒科用金賣卸
R. Quint. Bocayuva, 73 Phone 2-4498 SÃO PAULO

Sadayuki Hori Prothese Dentaria

公認齒科技工一級
堀定之
マリ、アヴ市アベニダ リオ・ブランコ二九四番

幸人 急用有 居所知らせ 兄

聖市中央メルカード

竹花菊平氏に告ぐ

美好死亡貴下の居所知りたし
第二アリアンサ移住地 長繩辰吉
T. NAGANAWA - C. Postal, 2 - Mirandópolis - N. O. B.

HEMORROIDAS ?

Só pilulas de herva de bicho compostas imescard

MOVEIS

店を出してゐない個人販賣です 他店より三割安くで新品を賣ります
絶對格安です
ベルゲイロ街四四一

Restaurante Caverna Paulista

R. Libero Badaró, 39 Tel. 3-2073 - S. Paulo
宴會、婚禮には特別サービス
家族揃つての御來店の程を
晝食 夕食
七鉗

賣土地

リベロンの近く珈琲植付向き土地一五〇〇六百ミルにて賣り度し、御照會は左記へ正午より四時迄
Sur. Calimerio Rua Batanten, 32 Pinheiros - S. Paulo

賣シチオ

聖市より廿五キロの地、地質極上、十二域、三家屋、畜舍付、牛五分にても可、價格極安、御照會は左記へ
"G. M" C. Postal, 539 S. Paulo

少年募

雜穀商賣に多少經驗のある少年一名
聖市サント・アマーロ街二番
内田商店

貸家

四室、台所、風呂場付、電氣水道共四百ミルで貸し度し場所及鍵は左記へ
Rua Tamandaré, 189

Loja das Machinas

R. Quint. Bocayuva, 281 Teleph. 2-1894 São Paulo
現金出納機、タイプライター計算機、金庫、アルキーボ、事務所用家具、裁縫ミシン、其他諸機具多數
▼賣買交換▲ 値段至廉

クスリ

日本藥局

聖市コンセリエイロ・フルタード街十五番
電話 二三五一

Loja Japoneza

高級織物、呉服反物
化粧品類在庫品豊富
カザメント エンシヨバアエス
バチザード 用 帽子、靴、其の他
青木呉服店
ソロ線ブ・ベルナルデス驛
郵函 一〇七

女中さん

十七、八歳より二十五歳位迄の方至急入用
御希望の方は左記へ御問合せ下さい
聖市イルマン・シンプリシアナ街一〇三
電話二一一五七五
羽瀬商店

尋人廣告

左記の者の現住所承知致度に付本人又は御存知の向は當館迄至急御一報相煩度し
記
鶴島縣安積郡片平村大字馬場下十四番地
渡邊壮吉（養信）
秋田縣由利郡本荘町古雪町
亀井ツルヨ
本籍地不明
元住所セントラル線スザノ驛
阿久戸清
北海道上川郡愛別町
川尻政雄
穂島市住吉島町宇板場四番地
武市芳光
昭和十五年十月一日在サンパウロ
日本總領事館
Consulado Geral do Japão Caixa Postal, 1167 S. Paulo

募る

野菜耕作に從事する方二家族至急求む
御照會はリベロン・ピイレス驛野上商店へ
Rua do Comercio, 12 Ribeirão Pires - S.P.R.
野上農場

Redacção e Administração:
Rua Maestro Cardim, 1109
Teleph.: 7-3325 e 7-3326 - Cx. Postal 375
SÃO PAULO-BRASIL

BRASIL ASAHI
EX-NIPPAK SHIMBUN

DIRECTOR: José Yamashiro

ASSIGNATURAS:
PARA O BRASIL { Anno . . . . 60$000 / Semestre . 30$000
PARA O EXTERIOR - Anno. . .120$000
ANNUNCIOS — Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços p/ annuncios nesta folha

Anno I | São Paulo — Domingo 6 de Outubro de 1940 | Num. 63

NOTAS E EDITORIAES

Segundo informa a agencia Dômei, o sr. Itarô Ishii, novo embaixador do Japão no Brasil, partiu de Tokyo, a 4 do corrente, pelo "Assama Marú", com destino aos Estados Unidos, de onde seguirá para o Rio de Janeiro.

***

O Serviço Nacional de Recenseamento communica-nos:

"Milhões de questionarios dos censos que se estão realizando em todo o paiz, já preenchidos e recolhidos, recebem neste momento a primeira critica, a cargo das auctoridades regionaes do Serviço Nacional de Recenseamento.

Depois do trabalho de revisão, empreendido pelos delegados municipaes, cabe ás delegacias regionaes rectificar as informações inexactas, erradas ou truncadas que porventura ainda existam.

Só depois desse trabalho de critica local, é que os boletins censitários serão devolvidos á séde da direcção central do S. N. R., a cuja divisão technica incumbe proceder a nova critica e revisão para, em seguida, os encaminhar á apuração mechanica.

Dentro de pouco tempo começarão a funccionar as secções encarregadas de fundir, em taboas estatisticas, todos os dados recolhidos de individuo a individuo, de casa a casa, de negocio a negocio.

Em todo o paiz a tarefa primaria da operação está sendo cumprida com um enthusiasmo que ha de levar de vencida todos os tropeços. Não se pode esquecer que não constituem raridade no interior do Brasil municipios fóra do alcance de ferrovias, rodovias, telephone ou telegrapho, insulados por falta de transportes e communicações, e onde portanto tudo se terá de fazer no rythmo das peculiaridades locaes. Noutras regiões, o máo tempo annulla a efficiencia dos meios de ligação existentes. Os incidentes inevitaveis a que está sujeita uma empresa da vastidão do nosso actual Recenseamento têm de ser sem conta e contra elles nem sempre podem valer as mais prudentes previsões.

E' obvio que as difficuldades encontradas, muitas dellas previstas em tempo, são contrabatidas pelo excellente animo da população, garantia de que tudo chegará a bom termo, como a marcha dos trabalhos e o aspecto actual demonstram. Já não é optimismo precipitado dizer-se que são animadores os resultados praticos obtidos até esta data pelo Renseceamnto Geral de 1940".

As negociações entre o Japão e as Indias Hollandezas

Declarações do ministro Kobayashi, chefe da delegação

Batavia, 3 (D.) — As auctoridades governamentaes desta cidade, conservando-se na neutralidade, com referencia ao novo convenio teuto-italo-nipponico recentemente celebrado na capital do "Reich", estão adiantando as negociações com os representantes nipponicos.

No dia 29 de Setembro, proximo passado, o sr. August Werten, ministro das Finanças, visitou o sr. Saito, consul geral do Japão nesta cidade e conferenciou durante 4 horas com os membros da comitiva nipponica.

Segundo observações feitas pelos enviados especiaes, acredita-se que as Indias Neerlandezas estão, aos poucos, comprehendendo o plano japonez de instituição de uma nova ordem na Asia Oriental.

Outrosim, a missão chefiada pelo sr. Kobayashi, está desenvolvendo grandes actividades no sentido de tornar mais intimas as relações entre os dois paizes, baseando-se sempre na mensagem do governo de Tokyo, publicada logo após a chegada da delegação japoneza a Java, que declarava:

"O progresso da possessão hollandeza dos mares do Sul constitue motivo de immenso jubilo para o Imperio".

Acredita-se ainda que talvez a embaixada economica publique uma nova declaração para tornar bem claros os objectivos nipponicos nas Indias Hollandezas.

Sobre a actual marcha das negociações, o sr. Kobayashi, procurado por representantes da imprensa, declarou o seguinte:

"O recente accordo assignado entre as potencias do "eixo" visa unicamente a paz mundial. Por isso, no tocante ás negociações ora entaboladas com as auctoridades desta cidade, estamos alcançando optimos resultados, sem soffrer a menor modificação na declaração feita por occasião da nossa chegada.

Estamos convictos de que serão coroados de brilhante exito, os actuaes entendimentos entre o Japão e as Indias Hollandezas.

Caso não conseguirmos a approximação economica, será inteiramente por nossa causa. Nesse caso seremos forçados a confessar a nossa incapacidade em transmittir os intimos anceios do povo nipponico aos filhos deste grande paiz."

O que diz o "Giornale d'Italia" sobre a alliança nippo-teuto-italiana

Não visa offerecer pressão aos EE. UU.

Roma, 1 (D.) — O "Giornale d'Italia" orgão official do governo fascista, trouxe em sua edição de hoje um artigo do sr. Gaida, redactor-chefe do referido influente jornal, commentando a alliança militar triplice, recentemente assignada entre Japão, Allemanha e Italia.

Nesse editorial, o sr. Gaida escreve, expondo primeiramente os ideaes e os objectivos do novo accordo, que terá fundado uma nova ordem no Oriente Asiatico, Africa e Europa.

Em synthese, o seu conteudo diz o seguinte:

"Com a conclusão do accordo militar nippo-teuto-italiano, foram consolidadas definitivamente as bases para a fundação de uma paz duradoura.

De mais a mais, a approximação do "eixo" Berlim-Roma á U. R. S. S. e a sensivel melhora das relações nippo-sovieticas, annunciam o advento de um novo estado de coisas na Europa e na Extrema Asia, e todos os povos alimentam a esperança da restauração de uma paz duravel no mundo.

Esta esphera, formada sobre novos principios, elliminará o poderio britannico do continente eurasico e africano.

O novo pacto allia três grandes potencias, contando um total de 230 milhões de almas, ou sejam, 35 milhões de soldados.

Pela cooperação intima dessas três mais poderosas nações do mundo, uma vasta zona estrategica, comprehendendo numerosas nações viriam fortalecer consideravelmente o poderio do eixo.

Baseando-se nos regimens economico-financeiros dos tres paizes, será fundado um grande bloco economico, constituido pela França, Noruega, Belgica, Hollanda, Tchecoslovaquia, Albania, China e pelo Mandchukuo.

O augmento das forças das potencias do "eixo" constitue um perigo para os Estados Unidos, porem, em absoluto o novo pacto visa qualquer represalia ao governo de Washington.

O unico perigo imminente aos Estados Unidos é a trama diabolica da Gran-Bretanha e dos judeus millionarios que estão desenvolvendo grandes actividades no sentido de arrastar a America ás luctas que se travam na Extrema Asia, Africa e Europa."

O fundamento cultural do povo japonez

Nyozekan Hasegawa

6

Afim de provar a differença entre o senso moral japonez e o chinez, Motoori Norinaga indicou o desaccordo no tratamento dos mesmos factos historicos, contados no *Kojiki* e no *Nihon Shoki*, — os dois documentos historicos compilados simultaneamente na Côrte Imperial durante o periodo de Nara. O *Kojiki* é uma historia popular das tradições oraes de nossos ancestraes, contadas em linguagem nativa, porém escriptas em caracteres chinezes phoneticos, porque elles não tinham uma linguagem escripta propria. O *Nihon Shoki*, por outro lado, é escripto em chinez, no estylo commum aos "livros de historia". O ultimo, accrescenta Motoori, inventou ou deturpou factos, para se adaptar aos ensinamentos moraes do confucionismo. Um bom exemplo disto é encontrado na consideração do incidente da caça do Imperador Yuryaku. O *Kojiki* conta que o Imperador Yuryaku, numa caçada, foi surprehendido por um javali e somente conseguiu salvar a sua vida subindo numa arvore. Este foi o thema de um de seus poemas e o *Kojiki* o recorda. Porém, segundo o *Nihon Shiki* o Imperador ordenou ao seu creado que matasse o animal selvagem. Vendo que aquelle estava temeroso de atirar o javali, o proprio Imperador causou a morte do animal e se dispunha a subtrahir até o creado. Admoestado pela Imperatriz, perdoou o creado e regosijou-se com a bondade de sua esposa, dizendo: "agora poderemos regressar ao lar, tendo cançado uma palavra de bondade".

Este topico serve para illustrar como um facto historico foi alterado afim de entrar em concordancia com a conceção moral do Confucionismo. Esta attitude é descripta como *Kara Gokoro*, — psychologia chineza —, e a fidelidade ao acontecimento, no *Kojiki* é o *Yamato Gokoro*, — psychologia japoneza. Este ponto de vista de Motoori Norinaga nunca fôra concedido pelos seus predecessores; foi uma descoberta moderna do espirito tradicional do Japão.

Motoori era um sabio classico, um contemporaneo de Rousseau. E, coincidencia, quando Motoori advogava o "Antigo Shinto", Rousseau incitava o seu povo a "voltar á natureza". E esses dois pensadores do Occidente e do Oriente eram bastantes afins, porque ambos descobriram um modernismo em voltando para o velho.

Aquelle naturalista tem sido o caracteristico de nossa civilização, não somente nos tempos modernos como tambem é largamente verificado nos estadios mais primitivos pela attitude dos historiadores da côrte dos tempos antigos, quando ainda não havia litteratura nacional.

(Continua)

Pintura

Conversa

Dois estudantes conversavam. Um delles fallava:

— Você ainda gosta della?

Idéa

Tres moças andavam juntas. Uma disse para as outras:

— Vocês estão sonhando! Com aquelle penteado eu fico horrivel!

Explosão

A moça do escriptorio soltou:

— A bom entendedor meia palavra basta.

Duvida

"— Por que ha sempre guerras? Agora a guerra dura o anno todo!... Antes não era assim!

"— Deve ser pela mesma razão porque você briga com seu pae, com sua mãe, com seus irmãos, com seus filhos...

"— Ahn!... Sim..."

Motu-proprio

Tendo commettido muitos erros, a secretaria fallou:

— Você sabe, quem não erra não é humano.

Perseverança

"— Depois que ella fez tudo para attrahir a attenção delle, continuou".

***

Coisas que me contaram. — *M.*

Influente figura de CHUNGKING

passa para o governo de Nankim

NANKIM, 3 — O tenente-general Tang-Sheng-Min, figura de grande influencia nos meios militares ligados ao general Chang-Kai-Chek, deixou recentemente Chungking e alliou-se ao Governo Nacional de Nankim.

Desde a formação do Governo Central, sob a chefia de Wang-Ching-Wei, um numero consideravel de lideres militares de Chungking tem vindo, espontaneamente, participar do governo de Nankim.

O tenente-general é irmão mais moço do general Tan-Sheng-Chin, que é o braço direito de Chang-Kai-Chek e que commandava as forças chinezas em Nankim, por occasião da rendição desta cidade, em 1937.

O VULCÃO Mihara-yama entrou em actividade

Tokyo, Setembro. — O monte Mihara, famoso vulcão situado na entrada da bahia de Tokyo, conhecido pelo numero de suicidios que nelle se realiza, entrou, ha pouco, em erupção, espetacularmente, após 17 annos de relativa inactividade.

Impressos?

Procure a typographia

NIPPAK-SHA

C. P. 375 — Teleph. 7-3325

Abolição do systema de accumulação no preenchimento de cargos de directores de departamentos scientificos

Tokyo, 1 (D.) — O Departamento de Planos e Projectos, levando em consideração a grande importancia da missão desenvolvida pelos scientistas nos varios campos de actividade nacional, resolveu abolir o systema de accumulação de cargos de chefes de departamentos scientificos, nomeando um chefe para cada departamento.

Assim foi nomeado hoje pela primeira vez para chefe executivo da secção scientifica do Departamento de Planos e Projectos Nacionaes o sr. Takeo Fujisawa que exercia até agora o cargo de engenheiro technico do referido departamento.

Extrangeiros Condecorados

Tokyo, Setembro. — Yang Hsue-hssu, instructor chinez na Escola Superior de Commercio Takamatsu, acaba de receber a Ordem do Thesouro Sagrado, Quinta Classe, como recompensa aos serviços prestados para a promoção do ensino em seu paiz. O sr. Yang deixará brevemente o Japão, de volta á China.

Tambem o sr. Carlos Poras, primeiro secretario da legação do Perú, e que está para regressar ao seu paiz, recebeu a Ordem do Thesouro Sagrado, Terceira Classe.

O noticiario telegraphico publicado pelo "BRASIL ASAHI" é fornecido pela Agencia Dômei, japoneza.

88 dias no Extremo Oriente

XXIII — José Yamashiro

Dairen, 6-5-40

Na tosca mesa sobre a qual uma frigideira chia, soltando vapores brancos. dois COOLIES, negros de sujeira, estão deitados, fumando calmamente. E outros typos, não menos sujos, pullulam em todos os cantos. Mulheres de aspecto funebre, apparecem nas portas sordidas. Entramos no theatro do bairro. U'a musica estridente, de instrumento de corda. Bailarinas que fazem requebros galantes. Dialogos que não entendemos. Crianças chorando a todo o pulmão... Physionomias tetricas, algumas impassivas, outras indifferentes...

A assistencia — que nada tem de selecta nem de fina — assiste ao espectaculo fumando á vontade. O ar é irrespiravel. Sahimos immediatamente. Vimos tambem a CASA DOS FUMANTES DE OPIO. E' uma especie de prisão dos viciados. Estes possuem licença especial da policia para fumar o opio, naquella casa. Ficam alli reclusos, entregues completamente ao pavoroso vicio, que os inutiliza para o resto da vida.

Ficamos realmente horrorizados ante tamanha decadencia e tão profunda miseria que existe neste canto do globo. Se no Japão o Gajoen, com suas maravilhas de arte, o Toshogû, com seu ouro deslumbrante, representassem o zenith da belleza e da opulencia, este "Mercado de Ladrões" de Dairen, representaria certamente o nadir da condição humana. Sempre nos haviam dito que o Oriente era um mundo de contrastes violentos, um conglomerado heterogeneo de pompa e degradação.

Entretanto, o celebre bairro dos ladrões está melhorando gradativamente. Já não é o centro dos gatunos, como o era antigamente. A policia está agindo, e talvez dentro em pouco o nome de "Mercado dos Ladrões" perderá a sua razão de ser. Comtudo ainda os cidadãos de Dairen procuram aquelle "Mercado" para encontrar objectos que lhes foram roubados. E são obrigados a pagar o preço corrente no "mercado", muito embora o artigo lhes pertença legitimamente...

Ás 16 horas terminámos o programma official de hoje. Os caravanistas se dispersam pela cidade, em pequenos grupos. Todos teem a volupia do exotico, querem conhecer a cidade, a vida deste povo, ou melhor desta mistura de povos. Emquanto no Japão existe uma unidade racial, e nacional, dando a tudo uma feição caracteristica, fundamentalmente una, harmoniosa, aqui ha muita heterogeneidade, não somente no aspecto externo das ruas, na vestimenta dos transentes — chinezes, japonezes, occidentaes com seus respectivos trajes typicos — na architectura dos edificios, como se nota profunda differença no espirito dos seus habitantes. Os japonezes, senhores poderosos do territorio, conservam a sua disciplina e o seu orgulho nacional. Os chinezes, numerosos mas dominados, parecem indifferentes ao destino de sua patria, pensando apenas na sua vida, que é penosa... Os occidentaes, em pequeno numero, passam quasi sempre como turistas, de modo que não lhes podemos analysar o espirito, senão superficialmente. Elles, por sua vez, pouco ligarão pela sorte de Dairen, ou dos COOLIES que se extenuam puxando RICKSHAW para os forasteiros...

* * *

A vida nocturna no continente é mais livre e mais intensa do que no Japão, onde ha restricções provenientes da guerra. Aqui, como já dissemos, é tudo differente. Muita gente se diverte até altas horas da noite. Mesmo o centro commercial — Nariwa-chô — possue muita animação, com sua illuminação de lampadas cylindricas suspensas em traves horizontaes, que atravessam a rua.

Dairen, 7-5-940.

As janellas possuem vidraças duplas, neste Yamato Hotel. Dizem que é por causa do frio. Agora, porém, não faz frio nem calor. É um clima agradavel de primavera.

De manhã vamos para Ryojun (Port Arthur). Sahimos do perimetro urbano e entramos no arrabalde de Dairen. Região montanhosa, arida, terra avermelhada. A estrada de rodagem por onde seguimos é optima.

A cidade de Ryojun, situada na extremidade sul da peninsula de Liaotung (Kwantung), dista cerca de 50 kilometros de Dairen. Ryojun ou Port Arthur, como é conhecido no occidente, serviu de base das operações militares das tropas alliadas franco-britannicas, na guerra de 1857, contra a China. Foi nessa occasião que o local até então conhecido pelo nome de Lushum (pronuncia chineza de RYOJUN), recebeu o nome de Port Arthur, em honra ao jovem principe Arthur da Inglaterra (duque de Connaught). Cessada a guerra, os chinezes procuraram fortificar a região, como base da esquadra chineza do norte. Em 1894, rebentou a guerra sino-japoneza, e os japonezes capturaram Ryojun, após um bloqueio. Em consequencia da esmagadora victoria alcançada pelo Japão, então um paiz quasi ignorado no mundo, sobre o gigantesco imperio Celeste, a peninsula de Liaotung passou para o dominio nipponico. Mas uma injusta pressão conjuncta da Allemanha, França e Russia, obrigou o Japão a devolver o territorio á China. Essa intervenção, conhecida pelo nome de Triplice Intervenção, causou profunda revolta no sentimento nacional do povo nipponico, que, entretanto, comprehendendo a inutilidade ou talvez a desvantagem de uma reacção immediata, contra as tres potencias unidas, aguardou, paciente, occasião propicia para uma vingança. Entrementes, a Russia czarista, seguindo a velha e tenaz politica de expansionismo para o sul (politica essa iniciada por Pedro, o grande), conseguirá o arrendamento do territorio de Kwantung, incluindo Ryojun e Dairen, e, sem perda de tempo, construiu em Port Arthur uma poderosa base naval e militar.

Continúa